

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

このたび、地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2025 年 5 月 1 日

施設名 地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター

代表者氏名 中里 圭宏

【研究課題名】

当院における S 状結腸捻転症の特徴と内視鏡的整復の治療成績についての検討

【研究期間】

2025 年 5 月 1 日（倫理委員会承認後）～ 2027 年 3 月 31 日

【研究の意義・目的】

S 状結腸軸捻転症は腸管粘膜に血流障害があれば緊急手術となるが、血流障害がなければ大腸内視鏡による整復術を行う。我が国における結腸軸捻転症の頻度は腸閉塞の 3-8%であり、70 歳以上の高齢者で 30-50%を占めると言われている。腹部膨満、便秘などの症状が多く、腹部レントゲンや CT 画像で確定診断となる。整復術は透視下で内視鏡を用いて捻れた S 状結腸を直線化し、捻転を解除する。成功率は 80-90%と高く報告されているが、実臨床ではそれ以上に低いと考えられる。良性疾患ではあるが再発が多く、また高齢者の症例も増えていることから大腸内視鏡による処置を行う侵襲性のリスクも懸念される。そこで今回、S 状結腸軸捻転症の診断となった患者の検査から診断、治療に至るまでの経過を後ろ向きに解析し、背景因子を検討することで日常診療に役立てることを目的とした。

【研究の方法】

S 状結腸軸捻転症の診断となった患者を対象とする。入院前の問診票、画像検査所見、カルテを参照しながら経過を検討し、データを収集します。任意に設定した期間を調査します。なお、データについては埼玉メディカルセンターの電子カルテ上の内科共有フォルダ内の、消化器内科フォルダ内「S 状結腸軸捻転症の診断となった症例」ファイル内に登録し、集約し、解析の上公表いたしますが、個々人の情報別に示されることはありません。調査期間は、埼玉メディカルセンターで 2019 年 4 月 1 日から 2027 年 3 月 31 日まで S 状結腸軸捻転症の診断となった患者さんが対象となります。

【研究組織】

1) 研究実施医療機関

地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター

2) 研究代表責任者

地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター 消化器内科 中里 圭宏

3) データ登録・管理

地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター 消化器内科 中里 圭宏

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の

個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

機 関 名 ： 地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター 消化器内科
事務担当者： 中里 圭宏

○試料・情報を当該研究に用いられることについて拒否する場合の連絡先
各施設の問い合わせ窓口

機 関 名 ： 地域医療機能推進機構埼玉メディカルセンター 消化器内科
事務担当者： 中里 圭宏